

報道関係者各位

プレスリリース【演劇公演】

2023年11月24日

劇団不労社

ロームシアター京都×京都芸術センター U35 創造支援プログラム“KIPPU”
『MUMBLE -モグモグ・モゴモゴ-』



モグつと頬張る口からモゴつと漏れ出す肉の声。
〈集団暴力シリーズ〉最終章は、
人新世における「家族」と「食」を巡るマルチスピーシーズ演劇

2023年12月14日(木)~17日(日)
ロームシアター京都 ノースホール

公演に関するお問い合わせ

劇団不労社 制作部

Mail : furosyamumble@gmail.com Tel : 090-4328-5694 (代表・ニシダ)

HP : <https://www.furosyamumble.com/>

報道関係者各位

プレスリリース【演劇公演】

◆ 企画概要

劇団不労社では近年〈集団暴力シリーズ〉と銘打ち、ムラ社会的な閉鎖コミュニティにおける争いから、共同体に内在する暴力性への考察に取り組んできました。

当シリーズではこれまで、村八分や集団農場、ブラック企業を主要なモチーフとして取り上げてきましたが、これらの上演を通じて、その根底には「家族」という原始的かつミニマムな共同体と相似系の構造が常に横たわっていることが浮かび上がってきました。

本作『MUMBLE -モグモグ・モゴモゴ-』はシリーズの集大成として位置付け、これまで扱ってきた諸要素をサンプリング・再構成しながら、「家族」のモチーフを前景化させます。

人類が環境に与える影響の大きさから、「完新世」から「人新世」の時代への移行が提唱される昨今、地球の持続可能性を探る上で「脱・人間中心主義」的な発想が見られるようになってきました。

例えば文化人類学の分野においては、動植物や微生物、無機物に至るまでのあらゆる“種”を、人類と同じアクター（行為主体）と見なし、多種共存のヴィジョンを構想する「マルチスピーシーズ」のアイデアが生まれてきています。

今作ではそれらの問題意識を引き継ぎ、ペットや狩猟、そして「食」といった、人間と動物が関わる営みを通じ、より広範なスケールから「家族」という言葉の問い直しを行います。

とある楽園の名前が冠された架空の民宿を舞台に、豪雪により「陸の孤島」とした化した極限状態の中で、「人間としての倫理」と「動物として生理」の境界でもがく家族の姿から、改めて「人間とは何か」という根源的な問いへと立ち返るような作品になればと考えています。是非ご期待下さい。

2023年11月 劇団不労社 代表 西田悠哉

◆ 劇団不労社 プロフィール

2015年に代表の西田悠哉が大阪大学を母体に旗揚げ、以後関西を中心に活動。

虚構/現実、聖/俗、恐怖/笑い、センス/ナンセンス、冷静/情熱の間を漂流し、ニッチな市場開拓を試みる零細劇団。

コント、バイオレンスマービー、オカルト、ヴェイパーウェイヴ、現代思想など、媒体を隔てた様々な考えや手法をサンプリングしながら、現代の歪な人間像を滑稽かつグロテスクに描く作劇を特色とする。

近年は、ムラ社会的な閉鎖コミュニティを舞台とした「集団暴力シリーズ」に取り組むほか、本公演とは異なる実験的枠組として「FLOW series」を実施。



(撮影：肖藝凡)

2022年度より KAIKA アソシエイトカンパニーとして活動。

令和3年度 次世代応援企画 break a leg、KAVC FLAG COMPANY 2021-2022 選出。

関西演劇祭 2021 にて、ベスト演出賞（西田悠哉）、アクター賞（荷車ケンシロウ）受賞。

若手演出家コンクール 2022 にて、優秀賞受賞（西田悠哉）受賞。

報道関係者各位

プレスリリース【演劇公演】

◆『MUMBLE -モグモグ・モゴモゴ-』公演情報

作・演出：西田悠哉

山奥深くにひっそり佇む「民宿 シャングリ＝ラ」。

そこに住まうは、ジビエの肉を振る舞い、その皮などを売り捌きながら、野生動物たちと共生する一族。かつて幻の動物の発見により観光地として賑わったが、今では見る影もないこの地に、動物と話す女が現れる。

ケモノ、クチャラー、グラップラーも巻き込み、猿も食わない家族喧嘩が展開。

欲望とホルモンにまみれたファミリーヒストリーの新たな1ページが刻まれるー。

豪雪により陸の孤島と化した極寒の冬景色を鮮血が染め上げる！

人か、獣か？闘争か、逃走か？

人類・人外絡み合う超獣戯画、とくとご堪能あれ!!

【公演日程】

2023年12月

14日(木)19:00★

15日(金)14:00/19:00

16日(土)13:00/18:00◇

17日(日)14:00◎◇

* 受付開始・開場は開演の30分前

★…割引あり 詳細は料金欄をご参照ください。

◇…ヒアリンググループサービスあり

◎…託児サービスあり

詳細はロームシアター京都 WEB サイトをご確認ください。

<https://rohmtheatreyoto.jp/event/103764/>

* 未就学児入場不可。

* 作中の一部に、人によって不快に感じる恐れのある表現がございます。

不安に思われる方は事前に劇団までお問い合わせいただきますようお願いいたします。

* 上演時間は約130～140分を予定しています。正確な時間は本番前にSNS等でお知らせいたします。

【会場】

ロームシアター京都 ノースホール

〒606-8342

京都市左京区岡崎最勝寺町13

TEL.075-771-6051 (代表)

075-746-3201 (チケットカウンター)

FAX.075-746-3366

■チケット (全席自由)

一般前売 3,000円 / 当日 3,500円

報道関係者各位

プレスリリース【演劇公演】

〈各種割引〉※前売のみ・要証明

- 初回割 2,800円 *12月14日(木)19時回対象
- FLOW者割 2,500円 *大学院生以下の学生 or 25歳以下対象
- 遠方割 2,000円 *近畿2府4県以外にお住まいの方対象
- 鳥獣割 2,000円 *鳥類及び4本歩行の哺乳類の漢字がお名前に入っている方対象

※遠方割・鳥獣割の取扱はCoRichチケット!のみ

【チケット取扱】

- CoRich チケット! <https://ticket.corich.jp/apply/280991/> (24時間購入可・当日精算)

- ロームシアター京都オンラインチケット

<https://www.s2.e->

[get.jp/web5ap04b/pt/?G=k1yo2to3&app=s4gt0&RTNfld=kyoto&RTNent=pe&RTNmyp=pm&RTNtik=pt&s=23121451tr&k=fa065ddeaae7d7112790166eca55f56530c1febfp8h7jcl](https://www.s2.e-get.jp/web5ap04b/pt/?G=k1yo2to3&app=s4gt0&RTNfld=kyoto&RTNent=pe&RTNmyp=pm&RTNtik=pt&s=23121451tr&k=fa065ddeaae7d7112790166eca55f56530c1febfp8h7jcl)

(24時間購入可・事前精算・要事前登録《無料》)

- ロームシアター京都チケットカウンター

[窓口・電話 TEL.075-746-3201 (10:00~17:00 年中無休 *臨時休館日等により変更の場合あり)]

- 京都コンサートホールチケットカウンター

[窓口・電話 TEL.075-711-3231 (10:00~17:00、第1・3月曜休 *祝日の場合は翌日)]

- 京都芸術センター [窓口 (10:00~20:00)]

■出演

荷車ケンシロウ、むらたちあき、永淵大河、西田悠哉 (以上、劇団不労社)

黒木陽子 (劇団衛星/ユニット美人)、小山栄華 (アナグマの脱却座)、中尾多福 (幻灯劇場)、のたにかな子、三澤健太郎 (エムシー企画)、森岡拓磨 (冷凍うさぎ)、横山清正 (気持ちのいいチョップ)

■スタッフ

舞台美術：竹腰かなこ 照明：渡辺佳奈 音響：廣岡美祐 衣装：清水春香 舞台監督：西野真梨子

演出助手：上原優香、川村智基、村田瞳子、渡邊素弘 写真撮影：肖藝凡 映像撮影：竹崎博人

宣伝美術・ドラマトウルク：永淵大河 フライヤーイラスト：こた Web協力：三村るな

制作：吉岡ちひろ、劇団不労社 制作部 制作協力：岸日和多、永澤萌絵

協力：猪岡瑛斗、餓鬼の断食、劇団散り花、劇団なかゆび、幻灯劇場、コトリ会議、小骨座、白いたんぼ
ぼ、人身工場ゲロリスト、Flat Box、MEHEM Lab.、Thenon works

KAIKA (フリンジシアターアソシエーション)

助成：芸術文化振興基金、アーツサポート関西

共催：ロームシアター京都 (公益財団法人京都市音楽芸術文化財団)、

京都芸術センター (公益財団法人京都市芸術文化協会)、京都市

主催・企画・製作：劇団不労社 supported by KAIKA